



大分の青少年

第44回 ー今、中学生が訴えたいことー

少年の主張

大分県大会

第44回を迎えた今大会には、県内26校から1,004作品の応募がありました。8月19日、エイトピアおおので開催された大分県大会では、第1次、第2次審査を経て選ばれた10人の中学生が堂々と主張し、それぞれの心からの思いや未来への提案が詰まっていました。



大会発表者作品

最優秀賞

「音を楽しむ」

小野 空 九重町立このえ緑陽中学校3年

優秀賞

「方言バイリンガル」

菅 朱李 竹田市立竹田南部中学校3年

「想いのバトンを繋ぐ」

島田 海翔 臼杵市立西中学校3年

優良賞・大分県教育長賞

「二つの祖国(日本とフィリピン)」

サンポルナ・アリアン 佐伯市立佐伯南中学校3年

優良賞・共感賞

「つなぐ」

首藤 杏奈 豊後大野市立三重中学校3年

優良賞

「私は私のままで」

岩下 真理華 九重町立このえ緑陽中学校2年

「命の大切さ」

甲斐 有咲 豊後大野市立緒方中学校2年

「笑顔ある日常へ」

川野 結衣 佐伯市立佐伯南中学校3年

「私の最大の恩返し」

財前 柚希 豊後高田市立田染中学校3年

「みんなが笑顔になれる世界」

高橋 莉子 宇佐市立宇佐中学校3年

作品介绍

第44回「少年の主張大分県大会」最優秀賞

音を楽しむ

九重町立このえ緑陽中学校3年

小野 空



「吹奏楽はソロプレイじゃない。チームプレイです」

この言葉を聞いた日から私の音楽に対する意識は大きく変わりました。

私が音楽に出会ったのは、保育園に通っていたころ。友達が鍵盤ハーモニカを上手に演奏していたのを見て、「カッコいい、私もやってみよう」と思ったのがきっかけです。それから私はピアノ教室に通い始めました。練習した曲を演奏すると、友達が「すごい」と褒めてくれて、それが自分のやる気や自信につながっていきました。

中学校に入学して、吹奏楽部に入部しました。選んだ楽器はクラリネット。使いこなせたらカッコよさそうだなと思ったからです。それに曲の中心となるメロディーを担当することが多いので、きっと誰よりも目立てるはずだと思いながら息を吹き込みました。

楽器にも慣れて、一年生の私もある程度音符の通りに曲が吹けるようになったときのことです。私に配られた楽譜は、クラリネットのサードというパートでした。メロディーではなく中途半端なイメージで、あまり目立たず、乗り気にはなれませんでした。合奏練習の音にそういう気持ちが表れていたのかもしれない。突然指導の先生が

「吹奏楽はソロプレイじゃない。チームプレイです。一人でも自分の音を吹けなかったら曲になりません」

そう指摘したのです。まるで自分に言われたようでした。確かにピアノは奏者が一人だけで、自身が思ったように表現する音楽です。でも、吹奏楽は一人ではありません。みんなで作る音楽です。一人ひとりの違う音

を合わせて初めてハーモニーが響きます。先生の言葉を聞いて、私は自分の意識が間違っていたことに気づいたのです。その日から、私の意識が変わりました。「目立たないから」ではなく「目立たないからこそ精一杯やる」自分だけの音を大切に吹くことで、どんなパートになっても自分の奏でる音が音楽になる喜びを知ることができたのです。

三年生になって私はどうとうコンクールに出場する曲のメロディーを担当するファーストになりました。しかし今年の曲は自分のソロから始まり、低い音から高い音をきれいなにつなげて吹く連符が難しく、なかなかうまくできずにスランプになってしまいました。一歩も前に進めずにただ楽器を握っているだけの私に、別のパートの同級生が話しかけてくれました。「この連符難しい。どうやって吹いたらいいと思う？」そう言いながら、何度も楽器を吹いている姿を見て、悩んでいるのは私だけではないのだと気づきました。何度失敗してもやり直し、だんだんと上手くなっている様子を見て、私ももう少し頑張ってみようと思えるようになり、一緒に練習してスランプから抜け出すことができました。仲間と助けあって、改めて吹奏楽はチームプレイだと感じるようになりました。

最後のコンクールは忘れられないものになりました。舞台裏の高い天井、無数に響く息づかい、ドアの向こうから聞こえる前の学校の演奏。そして独特な緊張感。舞台にあがり先生の指揮と同時に会場に私の奏でる音がゆったりと紡がれます。必死に練習したソロの部分もうまくいき、みんなと音があわさる瞬間、パズルが完成した時のようなわくわくした感覚でした。きっとこれが音楽、「音を楽しむ」ということなのだと思えました。コンクールの結果は銀賞。けれど後悔はしていません。舞台の上で感じた感覚は金賞よりもずっと価値があると信じているからです。

これから私は、来年も次のステージで「音を楽しむ」ことができるように、高校受験に全力で取り組みたいです。もちろん、ソロプレイではなく仲間とのチームプレイで。

発行：大分県青少年育成県民会議・大分県

(大分県大分市大手町3-1-1 大分県生活環境部私学振興・青少年課内TEL097-506-3076)

ホームページ：http://.pref.oita.jp/soshiki/13255/20171208kenminkaigi.html

Facebook：大分県青少年育成県民会議

検索

Email:oita.patrol@gmail.com



社会的自立に悩みを抱える子ども・若者の気持ちに寄り添い応援します！

大分県では、不登校やひきこもり、就労等の社会的自立に困難な悩みを抱える方々やそのご家族をサポートするため、相談窓口を設置しており、電話・メール・来所・訪問による相談が無料でできます。
誰もが抱えるさまざまな悩み事を、ひとりで、家族だけで抱え込まずに、まずはお気軽にご相談ください。

おおいた 子ども・若者総合相談センター

悩み相談の全般を受け付けます！

相談は **無料** です。
悩みごとがあれば、お気軽にご相談ください

まずは ☎ **097-534-4650** にお電話ください。
mail : info@oita-konet.net

相談内容	不登校、ひきこもり、ニート等青少年の悩み相談全般
受付時間	▶ 月曜日～土曜日 9:30～17:30
所在地	▶ 大分市中央町1丁目2-3 KNTビル



届きづらかった支援情報を一ヶ所に集約！ 社会資源ポータルサイト「このゆびとまれ」開設

ひきこもり、就労、障がい、不登校などさまざまなお困りを持っている方々やご家族への大分県内の支援情報を一括発信するポータルサイト「このゆびとまれ」を令和4年4月に開設しました。県内各市町村の相談窓口や支援施設などの情報を一つのサイトから知ることが出来ます。また、サイトから各市町村の相談窓口のHPにリンクすることも可能です。是非一度検索してみてください。

大分県の子どもや若者、その家族がかかえる問題をサポートするポータルサイト

「このゆびとまれ」 OPEN!

#引きこもり #外に出る #誰にも話せない #変わりたい #働くこと #学校のこと

「ちょっと困ったことがある...」
それは子どものことだったり、ご家族のことだったり、自分自身が抱える悩みだったり...
でも「相談する」のはとても勇気がいること。
「どこに行けばいいんだろう。」「どんな人がいるんだろう。」「わからないから不安になる、ためらってしまう。」
「このゆびとまれ」は、そんな皆さんを支えるポータルサイト。
大分県ではみなさんの困りごとに寄り添える情報をここに集めました。
「私たちのまちにはどんな場所が、どんな窓口があるの?」
「県内にはどんな取り組みがあるの?」
あなたの悩みや疑問にしっかりと寄り添えるサイトを一緒に作っています。

<https://konoyubi-tomare.jp>

届きづらかった支援情報を一ヶ所に集約！

現代社会において、子どもや若者、その家族がかかえる問題は複雑かつ顕在化されにくく、各支援機関のアウトリーチにも限界があるのが事実です。わかりやすく、スムーズに支援機関につなぐためには、大分県内各市町村の支援情報が一ヶ所で取得できるポータルサイトが必要だと考えました。これまで届きづらかった情報を必要としている人に届ける。それが「このゆびとまれ」です。

<https://konoyubi-tomare.jp>

困りごとをサポートする情報満載！

大分県内各市町村のさまざまな情報を発信！

大分県内では、多くの団体が福祉課題の解決に向けて取り組んでいます。「このゆびとまれ」では、県内の相談窓口をはじめ、セミナー情報、支援団体のインタビュー記事など、悩みをかかえる人に役立つさまざまな情報をお届けしています。

県内の相談窓口をまとめました

支援団体・相談窓口の情報が一目でわかるように、市町村ごとにまとめたページをご用意しています。

特定非営利活動法人おおいた子ども支援ネットワーク
〒870-1124 大分県大分市宇旦野原823番地5
TEL 097-534-4650

市町村民会議の取組

杵築市（杵築市青少年健全育成協議会）

杵築市青少年健全育成協議会は、市内14小学校区（旧小学校区含）ごとに組織された地区育成会議の活動支援を中心に活動しています。その他この数年コロナ禍により活動が例年通りとはいかない状況にありましたが、本年度は学校や警察、各種団体と連携し、夏祭りや花火大会時における特別補導（パトロール）を実施し、非行の事前防止に繋げる取り組みができました。

令和3年度における各地区での活動は、コロナ感染対策に配慮しつつ住民自治協議会や地域団体・PTAなどと協力して、あいさつ運動や地域内の定期的なパトロール、世代間交流事業（スポーツ大会等）を実施しました。

その他、地域の特色を活かした活動として専門家を招いての「バードウォッチング」や地域の魅力を再発見する「交流ウォーク」などが行われました。



バードウォッチング事業



交流ウォーク事業

日田市（日田市青少年問題協議会）

日田市青少年問題協議会は、関係機関の事務局による専門委員会、関係機関の長による委員会を設置し、各団体の事業報告等を行いながら連携を図っています。

また、青少年の健全育成に関する市民意識の一層の高揚のため、令和3年12月11日に第39回日田市青少年健全育成大会を開催しました。今回は、日田市連合育友会の指導者研修会との合同開催で、感染症対策のため規模縮小での開催となりました。

内容としては、連合育友会から、東部中学校、三和小学校の事例発表と（一社）セキュリティ対策推進協議会（SPREAD）の情報セキュリティマイスターの黒川智子氏に「被害者にも加害者にもならないために情報モラルをみんなで考えよう」と題して、特別講演をいただきました。



育友会の事例発表



特別講演



「少年の船の家2022」事前研修会 実施

「大分県少年の船」は、通常は大型客船で沖縄に向かう4泊5日の研修ですが新型コロナウイルスの影響により、今年も陸上研修に変更して10月に実施する予定です。

9月10～11日に本研修に向けた事前研修会を行いました。中高生班長・副班長と青年リーダーとスタッフ約50名で、講義を通して多様性の理解や指導者としての対応の仕方を学んだり、野外炊事実践研修を通してリーダー達のチーム作りを進めたりすることができました。

〈参加者の声〉

副班長「仲間と協力して何かを作り上げていく喜びやこれからの向けての「準備」の大切さを学んだ。」

班長「1人で料理するよりみんなでワイワイしながら作ると覚えが早いし洗い物まで楽しくできた。」「参加者全員が楽しみ、自分の成長に繋がられる研修にしたい。」

リーダー「初めは頼りない班長・副班長でしたが、研修が進んでいくにつれ目に見えて成長していくのを感じることができました。1つのアドバイスで短期間でも変わるんだと実感させられた。本研修では団員を引っ張る班長・副班長をサポートしたい。」

県民会議加盟団体の活動

別府大学・別府大学短期大学部 問い合わせ先 0977-66-6262 (広報室)

別府大学は、文学部、国際経営学部、食物栄養科学部の3学部6学科に短期大学部2学科を合わせ約2500名の学生が学んでいます。2020年に70周年を迎え、開設時から現在地にキャンパスを置き、地域に根差した大学を目指し、地域とのつながりを大切にきた教育・研究活動を行ってきました。2010年10月から、学生有志により地域の共同温泉である「前田温泉」の清掃活動を行っています。共同温泉は別府ならではの温泉文化です。近年、生活スタイルの変化や管理者の高齢化などで、運営が難しい共同温泉が増えています。大学近くの前田温泉もそんな温泉の一つでした。市民の方の声かけで学生有志が集まり、日々の清掃を請け負っています。また、近隣には小学校や幼稚園があり、小さな子どもから高齢者まで様々な世帯が暮らしています。毎月「学生防犯パトロール」を行い、大学周辺の安全点検を行っています。

学生も地域の一員となり、“近所の若者”として頼られる存在でありたいと考えています。



前田温泉の清掃活動



学生防犯パトロール

特定非営利活動法人パワーウェーブ日出 問い合わせ先 0977-75-8637

当法人はマイクロソフト地域社会貢献プロジェクトにおいて「子育て支援事業」を中心に地域活性化事業を実施しています。子育て中のお母さんを支援することにより、子どもの笑顔が見たいという思いで立ち上げ、今年で17年です。若いお母さんやお子さんが笑顔になるという事は、地域も活性化します。講座受講の際の託児が課題でしたが、お母さんが受講中に隣接でお子さんを見るシステムを考案して17年間無ケガ・無事故で実施中です。お母さんが安心して受講できる環境を作りました。その講座で受講した方が、お子さんを託児システムに預けながら、各地域で「地域講座講師」となり、就労支援につなげることができました。地域の方々にも支えられています。

ある時は、引きこもりの若い方が知人から当法人を紹介され、就労に一步出るためにステップとして、地域講座に出てきて、数年後には車の免許を取得して自立しました。

DVを受けていた方も就労して自立したいと「就労支援講座」にチャレンジしました。

つい最近のうれしい事は不登校のお子さんをお持ちのお母さんが、心配して相談に来てくれた事です。そのお子さんが数ヶ月後に学校で「自分になりたい夢は？」との問いかけに、なんと「お母さんの仕事と同じ仕事をしたい！」とのお返事をしたと伺いました。これこそ子どもを育み、地域を育む事だと感じました。ちょこっと立ち止まっている方の心に、寄り添える法人でありたいと願います。沢山の方々へ支援して頂き感謝しています。



地域講座の講師にチャレンジ♡



ママ安心してお勉強してね!

「更生保護女性会」に入りませんか？

更生保護女性会は、女性の持つ優しさや温かさ、細やかさといった特性を生かした地域に根ざした活動をしており、多くの人たちの犯罪や非行からの立ち直りを支援してきました。

このような活動をしています

ミニ集会

「家庭でのしつけ」「非行」などの身近なテーマについて地域住民同士で話し合っています。

子育て支援

子育て中の親を対象に子育て相談、親子ふれあい行事などを行っています。

更生保護施設をサポート

入所者の自立のための料理教室や「おふくろの味」の提供、生花や図書等の寄贈を行っています。

社会参加活動・社会貢献活動への協力

保護観察を受けている人が行うレクリエーションや清掃活動・介護補助活動などに協力しています。

刑務所や少年院での協力

受刑者への訪問活動や女子刑務所での浴衣の着付け、少年院における運動会への参加などを行っています。



更生女性会員のオコジョさん
更生保護キャラクター

○入会に特別な資格は必要ありません。

○更生保護女性会の趣旨に賛同される方であれば、どなたでも参加することができます。

○大分県内には、19地区の更生保護女性会があり、県内の会員数は、約1900名です。

興味のある方は、地域の更生保護女性会もしくは大分保護観察所へお問合せ下さい。

【問い合わせ先】大分保護観察所企画調整課 TEL097-532-2053

